

# 会 議 録

## 1 会議名

平成28年度第1回高土区地域協議会

## 2 協議事項（公開・非公開の別）

- (1) 諸事項の確認について（公開）
- (2) 会長・副会長の選任について（公開）
- (3) 地域協議会の運営等について（公開）
- (4) 地域活動支援事業について（公開）

## 3 開催日時

平成28年5月16日（月）午後6時30分から午後8時30分

## 4 開催場所

高土地区公民館 2階 中会議室

## 5 傍聴人の数

2人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：青木正紘、飯野憲静、飯野正美、金子和博、小林トシ子、建入一夫  
中嶋真一、樋口義昭、日向こずえ、横山とも子（欠席2人）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、小林主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【小林主事】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【山田センター長】

- ・ 挨拶
- ・ 議長決定までの間、司会進行を務めることを報告

本日は初回ということで、会の運営方法など審議事項が多々あるが、会議の終了を午後8時30分頃と予定している。協力をお願いする。

全委員から自己紹介をお願いする。後ほど、会長・副会長の選任を予定しているので、地域協議会委員としての抱負なども含め、おひとり1分程度でお願いしたい。

#### 【青木委員】

地域活動としては、妙油の町内会長をやっている。今までは、地域活動支援事業に提案する立場だったが、これからは審査する立場にもなったため、責任を持ってやっていきたいと思う。この地域が「明るい高士」になるよう委員の皆さんと共に頑張っていきたい。

#### 【飯野憲静委員】

地域活動としては、高士地区老連の老人クラブの会長をしている。地域協議会の委員は今回で2期目となる。

今回は、若い人たちが大勢いて、自分の子どもと同じ年代の人たちと仕事ができるということで、とても楽しみにしている。若い皆さんから引っ張ってもらいたいと思う。

#### 【飯野正美委員】

私は結婚してから高士区で生活するようになった。当時は知り合いが誰もいなかったが、飯野憲静委員や建入委員など近所の方や、消防団活動を通じて、沢山の友人ができた。また、今回は責任のある地域協議会委員に入れさせていただいたことに、とても感謝している。まだ20年の経験だが、地域が良くなるように、皆と協力して頑張っていきたい。

#### 【金子委員】

今回、飯野憲静委員から声をかけていただき、初めての地域協議会委員となった。未来の高士が今よりもっと住みやすい地域となるよう、10年20年先を考えて議論していきたい。

#### 【小林委員】

今回は2期目となる。最初、委員になったばかりの頃は「地域協議会」という言葉さえも知らなかった。ようやく地域協議会の役割が分かってきたのは3年目だった。3年目の後半になって、少し自分の意見がまとまってきたと感じた。

今回、若い方が沢山入ったので、とてもうれしく思っている。

### 【建入委員】

私は、今年54歳で、数年後には定年を迎える。その時に、自分が何をしようかと自問自答している時期だった。そんな時に、飯野憲静委員からお誘いいただいた。新しい人と知り合いになりたいと思う気持ちと、自分なりに居場所みたいなものを見つけられたらという自分本位の考えで、地域協議会に参加させていただいた。皆さんのご意見を色々いただきながら、やっていきたいと思う。

### 【中嶋委員】

この中では一番の若手であるが、自分なりの考えを持ちながら頑張っていきたいと思う。

### 【樋口委員】

今回初めて地域協議会委員を務めることとなった。地区の体育協会の役員をさせていただいている。正直、軽率に引き受けてしまった部分もあるが。任命書交付式に出席し、任務の重さを感じている。一生懸命務めさせていただく。

### 【日向委員】

私は高士区の生まれで、今は結婚して4人の子どもたちにも恵まれた。生まれてからずっと高士区に住んでいる。高士区で育てられたので、高士区のために何か恩返しがしたいと思い、協議会委員を引き受けた。初めてのことで戸惑うこともあると思うが、高士区のために何かお力になればと思う。

### 【横山委員】

私は今回が2期目になるが、小林委員と一緒に、最初は「採択」という言葉すら分からない状況だった。しかし後半はあっという間で、やっと地域協議会の役割が分かってきたところだったので、もう少し地域の力になればという思いで、引き続き委員となった。私は県外出身なので、長年高士区に住んでいると普通すぎて分からないことや、ついつい普段の暮らしで見過ごしてしまう高士の魅力を、肩肘を張らずに光を当てていけたらと思っている。

### 【山田センター長】

- ・自己紹介

### 【小林主事】

- ・自己紹介

### 【野口係長】

・自己紹介

【山田センター長】

次第4議題に入る。なお、地域協議会は公開会議であることから、毎回録音している。発言の際は挙手願う。その後、司会からお名前を指名する。

(1) 諸事項の確認について、野口係長に説明を求める。

【野口係長】

・資料により説明

【山田センター長】

今の説明に質疑を求める。

(質疑なし)

次に、(2) 会長・副会長の選任について協議を行う。地域自治区の設置に関する条例第6条の規定により、委員の中から選任することとなっている。会長の選任について、皆さんの意見を求める。

前任の会長・副会長の選任は委員の皆さんから、ご推薦いただき、挙手によって決定した。会長の役割としては、会議日程の決定、事前打合せ、会議での議事進行や意見集約や、会長会議への出席がある。

まずは会長選任の方法について意見を求める。

【青木委員】

前回と同様、推薦がよいと思う。

【山田センター長】

前回と同様、推薦という意見が出たが、他に意見はあるか。

(意見なし)

では、会長の選任方法を推薦としてよいか。

(「はい」の声あり)

どなたかを推薦される方は挙手願う。

【青木委員】

今までの経験から、前回の副会長である飯野憲静委員を会長に推薦する。

【山田センター長】

推薦で飯野憲静委員のお名前が挙がっているが、賛成の方は挙手願う。

(全員挙手)

それでは飯野憲静委員を会長に選任する。会長が決定したことにより、副会長選任以降の議事進行は、会長に願います。会長から一言ご挨拶をいただきたい。

**【飯野憲静会長】**

・挨拶

引き続き、副会長の選任に入る。副会長の任務について事務局に説明を求める。

**【山田センター長】**

副会長は会長を補佐し、会長がいない場合は会長代理となる。副会長の人数の取り決めはなく、2名選任している区もあるが、高士区はこれまで副会長は1名で選任されてきた経緯がある。

**【飯野憲静会長】**

副会長の選任に入るが、まずは人数を決めたいと思う。他の区で複数制としている協議会はあるか。

**【山田センター長】**

中部まちづくりセンター所管の中では、春日区と新道区が2名体制だ。委員の定数が多いことから2名体制としている。

**【飯野憲静会長】**

高士区の場合は、これまで1名としていたが、今後どうするかについて委員に意見を求める。

**【青木委員】**

高士区の振興協議会では、副会長を2名選任していて、進行がスムーズであることから、地域協議会においても2名体制がよいと思う。

**【飯野憲静会長】**

2名という意見が出たが、他に意見はあるか。

**【樋口委員】**

これまで1名で特に問題がないということであれば、特に2名出す必要はないと思う。2名がよいという皆さんの意見があればそれに従うが、私は1名のままでよいと思う。

**【建入委員】**

高士区の委員の数は12名なので、副会長は1名でよいと思う。だが、次世代を育てていくという考え方で、2名選出することもよいと思う。

**【飯野憲静会長】**

他に意見を求める。

(意見なし)

2名と1名という意見が出ているが、挙手で決をとりたいと思うがよいか。

(賛同の反応)

1名という意見に賛成の方は挙手願う。

(8人挙手)

過半数を超えているので、1名ということで決定した。

それでは副会長の選任について、まずは立候補される方は挙手願う。

(立候補なし)

立候補者がいないため、どなたかを推薦したいという方は発言願う。

**【横山委員】**

本日は欠席だが、横川委員を推薦したい。横川委員は3期目であり、色々なご経験もある。お仕事の都合もあるとは思うが、是非やっていただければと思う。

**【青木委員】**

横川委員は適任だとは思うが、本日は欠席されている。欠席裁判のようにならない方がよいと思うので、出席されている方の中から選任してはどうか。会長の指名がよいのではないかと思う。

**【飯野憲静会長】**

私は、副会長の経験があるが、会長や事務局との連絡調整や打合せ、会長が欠席の場合の進行など大変だった部分もある。できれば、連絡が取りやすく、会う機会の多い方だと助かる。横川委員は委員の経験も長く、地域振興に一生懸命な方なので、とてもよいと思うが、現役でお勤めされており、副会長となると負担が大きいと感じる。

もし皆さんがよければ、副会長は会長指名という形を取らせていただきたいと思いますと思うがよいか。

(「はい」の声)

横川委員との意見も出たが、私としては今後の自主的審議等で、町内会や振興協議会と協力していくことが多くあると考えている。そこで、高土区の町内会長協議会長及び振興協議会長である青木正紘委員を副会長候補として指名したいと思うが、皆さんはどうか。

(「はい」の声)

では、青木正紘委員を副会長に選任する。一言、挨拶をお願いします。

**【青木副会長】**

- ・挨拶

**【飯野憲静会長】**

青木副会長の言ったように、今回は委員の年代が若返ったと同時に、女性委員が多くなった。上越市全体でみると、女性委員が少なくなったのだが、高士区は増えた。また、30代前半の委員もいる。平均年齢も前回の委員の時から10歳ほど若返ったので、他の区からも注目されていると思う。我々も緊張感を持って、これから進めたいと思う。

それでは、次第4の(3)地域協議会の運営等について、事務局に説明を求める。

**【小林主事】**

- ・資料により説明

**【飯野憲静会長】**

座席順について、事務局提案のとおり会長・副会長を除き名簿順とさせていただきます。

次に、「会議の招集請求に必要な委員の数」について事務局に説明を求める。

**【小林主事】**

- ・資料により説明

**【飯野憲静会長】**

説明のとおり、会長以外に委員が会議の招集を求める場合に必要人数について、これまでは委員の4分の1以上としていた。この人数について今後どうするかを協議したい。意見のある方は発言願う。

**【樋口委員】**

先回は4分の1以上ということであったが、それは少なすぎると思う。12名から会長もしくは副会長を除いた数の3分の1ということになると、非常に少ない数で請求ができるため、もっと多くしてはどうか。

**【飯野憲静会長】**

承知した。他の意見を求める。

**【金子委員】**

他の地区について状況を教えていただきたい。

**【小林主事】**

中部まちづくりセンターが所管する他の区については、現在未決定であるが、過去はどの区も4分の1以上としていた。

**【金子委員】**

そのような状況であれば、これまで通りでよいと思う。

**【飯野憲静会長】**

現在、二通りの案が出たが、それについて意見を求める。

**【中嶋委員】**

これまで通り、3名以上でよいと思う。

**【飯野憲静会長】**

他の意見を求めるがなし。

会議の招集請求の必要人数は4分の1、3名以上ということで、委員の了承を得る。

続いて、「会議録の確認者」について事務局より説明を求める。

**【小林主事】**

- ・資料により説明

**【飯野憲静会長】**

会議録の確認については名簿順ということで、委員の了承を得る。

**【飯野正美委員】**

議事録の確認は会議の場所で行うのか。

**【小林主事】**

後日文書を自宅へ郵送する。誤字、脱字、表現等についてご指摘をお願いします。

**【飯野憲静会長】**

それでは、本日の会議録の確認者は青木副会長にお願いします。

次に「会議の開催時刻」について事務局から説明を求める。

**【小林主事】**

- ・資料により説明

**【飯野憲静会長】**

今まで、会議の開催時間は会議の都度、次期の会議を決めるということであった。

それについての意見を求める。

**【建入委員】**



特に問題はないが、基本的に6時30分と決めたほうが、次回も決めやすいと思う。

**【飯野憲静会長】**

他の意見を求めるがなし。基本は午後6時30分開始とし、ただし状況に応じて変更もあるということとする。

次に「会議の会場」について、事務局へ説明を求める。

**【小林主事】**

- ・資料により説明

**【飯野憲静会長】**

会場については高土地区公民館の中会議室ということで、委員の了承を得る。

次に「その他（地域協議会だよりの発行）」について、事務局より説明を求める。

**【小林主事】**

地域協議会だよりは地域協議会の様子を地域住民へ伝えるためのもの。年3～4回発行とする。作成は事務局にて行う。町内会長を通じ、高土区の全戸に配布している。委員へ執筆の依頼をする場合があるので協力願う。次回の発行は6月15日を予定している。

**【飯野憲静会長】**

説明に対する質問を求めるがなし。

次に、(4)「地域活動支援事業について」の「制度の概要」について事務局より説明を求める。

**【小林主事】**

- ・資料により説明

**【飯野憲静会長】**

説明についての質疑を求める。

**【飯野正美委員】**

資料1に過去の採択例があるが、これらは今も継続されているのか。

**【小林主事】**

- ・資料により説明

**【飯野憲静会長】**

次に「提案事業の受付状況」について、事務局へ説明を求める。

**【小林主事】**

・資料により説明

【飯野憲静会長】

事務局の説明についての質疑を求める。

【建入委員】

事業採択前でも活動は実施してよいとのことだが、その後の採択で減額されることはあるのか。

【小林主事】

事業実施後の不採択、減額ということはある。なお、提案団体はそのことを承知している。

【飯野憲静会長】

補足説明であるが、過去にも減額となった事例はあった。

【樋口委員】

提案書の中に「採択方針との整合」とあるが、これは誰が整合の判断をしているのか。

【小林主事】

提案者が主観で行っている。

【飯野憲静会長】

他に質疑を求めるがなし。

提案書については各自熟読の上、質問は事務局へ願います。

次に「審査方法」について事務局へ説明を求める。

【小林主事】

・資料により説明

【飯野憲静会長】

提案事業の採点は各自の判断で願います。採点方法等で疑問があった場合は、各自で事務局へ質問をお願いしたいが、この場で質問のある委員がいれば発言願う。

【建入委員】

提案のあった16件について、我々が審査することになるが、採択決定までスケジュールについて教えてほしい。

【飯野憲静会長】

スケジュールについては後ほど説明する。

**【建入委員】**

採点票について、電子メールでの送付は可能か。

**【小林主事】**

希望があれば対応する。

**【飯野憲静会長】**

他に質問を求めるがなし。

次に次回のヒアリングについての説明を事務局に求める。

**【小林主事】**

ヒアリングとは、委員が提案の内容を正確に理解し、公正・公平に審査するために行うものであり、地域協議会の会議に提案団体を招き、事業の概要を説明していただいた後で、委員からの質疑に答えていただく。

・日程は6月2日に実施、採点後の提出期限は6月10日とする。

**【飯野憲静会長】**

今回は、提案のあった16件全ての事業についてヒアリングを行うこととする。午後6時から9時まで長時間となるが、ご理解願う。日程等について質疑を求める。

**【建入委員】**

16件のヒアリングとなると長時間となるが、提案者は自分の番以外は会場で待機しなければならないのか。

**【飯野憲静会長】**

ヒアリングは提案団体ごとに時間が決まっており、提案者は自分の番5分前までに会場へ来ていただき、自分の番が終わり次第、退室してよいこととなっている。

**【小林主事】**

提案者へは事前にヒアリング予定時刻をご案内してある。各提案団体の持ち時間は、10分間としている。

**【中嶋委員】**

採点票を手元で参照しながら、ヒアリングを行うことは可能か。

**【小林主事】**

可能である。採点票は、ヒアリング当日までに委員へ送付する。

**【飯野憲静会長】**

他に質問を求めるがなし。

・第3回協議会：6月20日（月）午後6時30分～  
その他について、事務局より説明を求める。

**【小林主事】**

・次回以降の会議日程について確認

**【青木副会長】**

・閉会の挨拶

**【飯野憲静会長】**

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線1449、1547）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。